

令和3年度第2回小鹿野町総合教育会議会議録

開催日時 令和4年2月22日(火) 午前11時
開催場所 両神ふるさと総合会館 研修室A
開会時刻 午前11時00分
閉会時刻 午前11時55分

出欠席状況

町長	森 真太郎	出席
教育長	武藤 彰 男	出席
教育委員	宮原 正 博	出席
	中山 忍	出席
	近藤 正	欠席
	石田 加津美	出席

その他会議に出席した者

社会教育課長	高 橋 豊
学校教育課長	南 徳 秀
学校教育課主任	岩本 直 樹
総務課長	新井 昇
総務課副主幹	上井 一人

傍聴者 なし

会議録署名 武藤 彰 男

日程

日程第1 会議録署名委員の指名
日程第2 議 事
(1) 教育審議会への諮問事項に対する答申書について
(2) その他

会議の進行状況及び顛末

開会 午前11時

町長 あいさつ後、令和3年度第2回小鹿野町総合教育会議の開会を宣言する。

以下、日程に従い議事を進めてまいりたいと思います。
よろしく願い申し上げます。

町長

まず、日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員の指名については、武藤教育長を指名いたします。
よろしく願いします。

「はいの声あり」

町 長

次に日程第2、議事に入ります。

(1) 教育審議会への諮問事項に対する答申書についてを議題とします。学校教育課長より説明をお願いいたします。

学校教育課長

はい、それでは、説明させていただきます。

小鹿野町の小学校再編整備方針及び実施計画（案）について、教育委員会から教育審議会へ諮問させていただいております。教育審議会は4回開催され、審議された内容につきましてポイントのみ申し上げさせていただきます。

まず、統合の是非については、統合は進めるべきであると考えます。続いて、統合の方法については、一斉統合に賛成の方、段階的な統合に賛成の方、二段階の統合に賛成の方と意見が分かれたため、審議会としては意見の一致が出来なかった。統合年度につきましても審議会としての意見一致ができなかった。また、統合を決定する前に保護者や地域に説明をして、意見を聞いて、それを吸い上げて、より良い統合案を決定してほしいという意見が多くありました。これを踏まえて答申書が提出されております。この答申書を受けて、令和3年度第2回の定例会で、教育委員の皆さんで協議いただきました。その結果につきましては、この答申書の内容を尊重することで決定いたしました。以上でございます。

町 長

はい、ありがとうございました。私の方から一つお話をさせていただきます。中学校統合の話色々聞いており、色々な議論があったとも聞いております。その中で私が疑義に思ったのが、執行部提案ではなく議会提案で条例改正を提案して、統合年度を決めて実施した。私は、それではまずいと思いますので、しっかり教育委員会で結論を出して、議案を作って、議会に諮るべきだと思っておりますので、そこは絶対にブレないで行きたいと思っております。

それでは、教育委員の皆さんにご議論いただきたいと思います。

教育長

町長から、ご質問やご意見を頂戴いただければと思いますが、いかがでしょうか。

町 長

統合は当然進めるべきだと思っております。統合の方法については色々な声が聞こえてきますので、自分自身の気持ちが纏まっていないのが実情であります。しっかり議論を進めていただき、最終的には教育委員会の意見を尊重して議会に提出していきたいと考えております。

学校教育課長

統合年度につきましても、当初の案では段階的な統合として令和6・7・8年度となっております。一斉統合の場合、検討させていただいた結果、令和7年4月1日統合の案で説明させていただきます。

町長

子供さんの気持ちがよく分かりませんが、段階的な統合と一斉統合ではどちらが良いのか、その辺を保護者に聞いてみたいと思っております、そこで結論がでるのかなと思っております。

学校教育課長

審議会においてアンケート等を取っていただいた結果、当初においては一斉統合の意見が多くございました。ただし、その後に子供たちだけでは無く教職員を含めた教育環境についての説明をさせていただいたところ、段階的な統合には色々なことが含まれて考えられていることが分かっていたと、一斉統合が良いのか段階的な統合が良いのか決められないという結果となり、地区での説明会を行い、皆さんの意見を聞いて、最終的には教育委員会で判断してくださいということになりました。

教育長

審議会の中で最初に出たのは、段階的な統合だと少人数で転校生のような形になってしまう。一斉統合であれば、みんな一緒にという形になるので、一斉の方が良いという意見がありました。その後、中学校統合の時の状況をご存知な委員さんが居りまして、中学校統合の時は一斉だったため、勢力争い的な状況になってしまい、学校毎の集まりとなり、交流も無く落ち着きに欠けていたというようなご意見がありました。段階的な統合では転校生的な形となるのが不安でありましたが、一斉統合だと学校毎に固まってしまい人間関係作りがうまく行かなかったということから、概に一斉統合に結論できないということとなりました。

もう一つの視点として、一斉統合となった場合には、小鹿野町にいる教職員が一斉に異動しなくてはならない。一斉に居なくなると子供たちが親しんだ先生がみんな居なくなってしまうという意見もあまして、ここで意見を定めることはできないということとなりました。

中山委員

私の子供は中学校統合から2年目に入学しましたが、両神の小規模校から大勢の子供のいる学校に行くと、1クラス18人だったのが30人以上に増えたことにより、1人の面積が減ってしまい、おとなしくしているしかなく、クラス内がガヤガヤしているような感じで授業も聞こえなかったと言っていた。また、色々な学校から子供が集まっているので落ち着きが無かったという話もよく言っていました。

宮原委員

私が初任者研修指導員という形で、ほぼ1日、年間35日間行った時に感じたことは、率直に「いいな」と感じました。おそらく子供は学校の規模が大きくなって興奮しておりますので、家に帰って色々な事を口にしたいと思います。そうすると親御さんは心配になる面があると思います。私が教室の授業を観たり、廊下ですれ違う時の子供の表情をみていると、かなり落ち着いていて、それほど気にならなかった感じがします。ただ、教員の見えない部分で子供たちの世界がありますので断定はできませんが、そのように感じました。

また、今後の進め方についてですが、4段階を踏んで行きたい

と考えております。1点目については、意見は十分にお聞きしました。後は答申を尊重して計画案を一部再検討するだけだと思います。2点目は、条例改正の後は承認された整備計画に沿って準備を推進する。3点目は、丁寧な地域住民や保護者への説明の実施。4点目は、その肝は説明の見える化が効力を発揮すると思います。そのようなことが答申の全てであったと考えております。

石田委員

説明を皆さんにすることが大変大事だと思います。また、当事者が安心して統合できるようなスケジュールが大事である。一斉統合なのか段階的な統合なのかを地域の方に説明をして、それを判断して次に行くところまでの期間が掛かりすぎると大変になると思いますので、その辺のスケジュールについても検討いただきたいと思います。

町長

4校一斉統合の場合、教職員さんたちの問題はクリアできそうでしょうか。

教育長

必要人数は決まってしまうので、事前に異動をしておく1年の臨時的任用教諭を増やす形になります。一斉統合になったから貴方は異動してくださいという訳にはいきません。事前に段階的に計画的に進めていかななくてはなりませんので、小鹿野町の方向性を教職員に説明しなくてはなりません。埼玉県とは常に情報の交換は行っております。

学校教育課長

説明会のイメージについてですが、各小学校毎で在学中の保護者、PTA、これから入学する保護者、地域の方に一度に集まっていたいただき説明を行うイメージであります。ただし、小鹿野小学校については大きいので2回に分けて実施する予定であります。その説明会の中でアンケートを取らせていただいて、一斉統合なのか段階的な統合なのかを確認させていただきたいと思います。

町長

開催の方法は分かりましたが、日時とかは具体的に検討されておりますか。

学校教育課長

令和4年度になりましたら間を空けずに説明会を行っていただけらとと考えております。まずは議会にご理解をいただいた後に区長に説明を行い、その後に地区の説明会を実施させていただきます。

以上で教育総合会議を終了

閉会 午前11時55分

上記会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年3月7日

教育長

武藤 彰 男